

日本国際連合協会兵庫県本部 留学生交流プログラム in 但馬 ～留学生たちが但馬の人と自然の魅力に触れる～

HIAが事務局を担う日本国際連合協会兵庫県本部が、兵庫 EU 協会等と共催で「留学生交流プログラム in 但馬」を6月7日～9日(2泊3日)に実施しました。17名(8か国)の留学生と9名の日本人学生や本県の国際交流員(CIR)6名(ブラジル、英国、中国、フランス、韓国、米国)等、30名を超える若者が参加して但馬を訪問し、美しい自然や伝統文化を体験するとともに地域住民との交流を行いました。

以下は本プログラムに参加した CIR スネル・エリザベスさんからの報告です。

○ 香住海岸で地引網体験、香住鶴酒造を見学【1日目】

地元の方の指導を頂きながら香住海岸で地引網に挑戦しました。地引網は重くて大変でしたが、タイ・アジを含む多くの魚やサメなど珍しいものも獲れました。



次に、香住鶴酒造で工場見学をして酒造りについて勉強しました。現代的な酒造のみならず伝統的な「木桶仕込」も見学でき、大変興味深かったです。宿泊した民宿では、地元の魚を使った夕飯を楽しんだ後、多くの留学生にとって初めてだった大浴場・和室・布団を体験しました。

○ 上山高原で植樹体験、湯村温泉で足湯体験、地元住民との交流会を実施【2日目】

遊覧船で山陰海岸ジオパークを見学後、上山高原に行きました。自然保護活動を行っている地元団体の方の指導を受けてブナの苗を一人一本植樹しました。植えた木の傍に自分の名前を書いた小さな看板を置きました。



その後、湯村温泉で温泉たまごと足湯を楽しみました。もっと時間があつたら温泉に入りたかったという声がたくさんありました。

但馬牧場公園で但馬牛などの動物と触れ合った後、地元の方も参加した交流会を行い、但馬の魅力について語りあいました。



○ 但馬のPRを考える発表会を開催【3日目】

最終日には、「但馬 PR キャンペーン」というテーマで参加者による発表会を行い、但馬のPR方法等を議論しました。

「兵庫県にこんな素敵などころがあるなんて知らなかった。(留学生)」、「地元の方はみんな優しくて暖かく接してくれた。(留学生)」、「日本の伝統文化をたくさん体験できてよかった。(留学生)」、「初めて星一杯の夜空や蛍を見た。(日本人学生)」、「日本の過疎化問題について初めて知った。但馬をもっと観光地としてPRし観光の仕事を増やすべきだ。(留学生、日本人学生)」などの意見がありました。



参加者はこのプログラムを通じて、国籍を超えた友情を育むとともに、兵庫県の魅力に触れ、いい思い出を作ることができました。今後は参加者によるフェイスブックグループを作って交流を続け、多くの人に但馬の良さをPRしていきたいとのことです。